

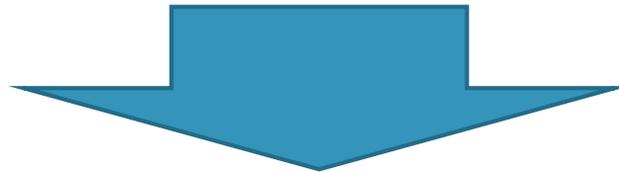
令和6年度特定健診歯科保健指導 導入事業研修会

事業の概要

宮城県保健福祉部健康推進課

事業の目的

- 歯周病は全身の健康維持と深い関わりがあり、動脈硬化、糖尿病、脳梗塞等にも影響があることから、メタボリックシンドローム等の生活習慣病発症や重症化予防のため、進行した歯周病の人に対する働きかけを行う。
- 県民の歯科保健指導を受ける機会を確保することで、自ら健康管理に取り組む県民が増え、生活習慣病の発症や重症化予防につなげる。



特定健診の場を利用した、歯科医師による口腔チェック及び
歯科衛生士による歯科保健指導を導入（対象：国保加入者）

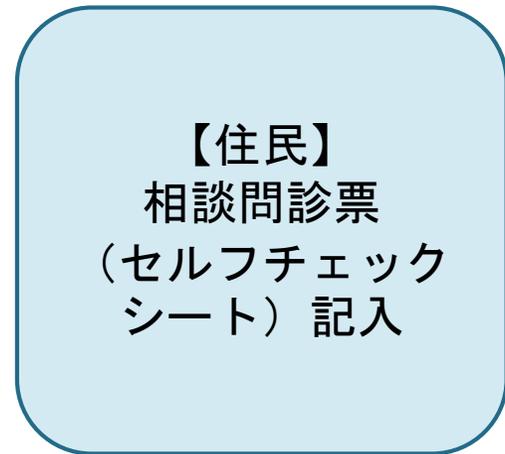
事業スケジュール (例：大崎市)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前調整	市町村・健診団体と打合せ	市町村・受託業者・郡市歯科医師会と打合せ	効果的・効率的に事業実施できるよう、事前に打ち合わせ、調整を行う。 市町村・委託団体と事前に打ち合わせ、調整を行う。								
事業実施			事業実施 (5日間)	特定健診の場において、歯科医師による口腔チェック、 歯科衛生士による歯科保健指導を実施。							
振りかえり ・まとめ								実施結果についてアンケート等を実施し、取りまとめる。			
報告・研修会								事業内容について共有し、横展開を図る。			

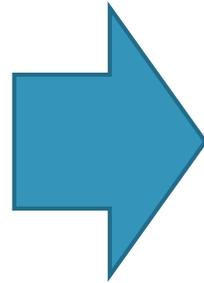
実施市町村、実施日

実施市町村	実施日
大崎市	令和6年6月25日（火）～6月29日（土）、7月1日（月）
名取市	令和6年7月24日（水）、7月25日（木）
山元町	令和6年9月11日（水）、9月12日（木）

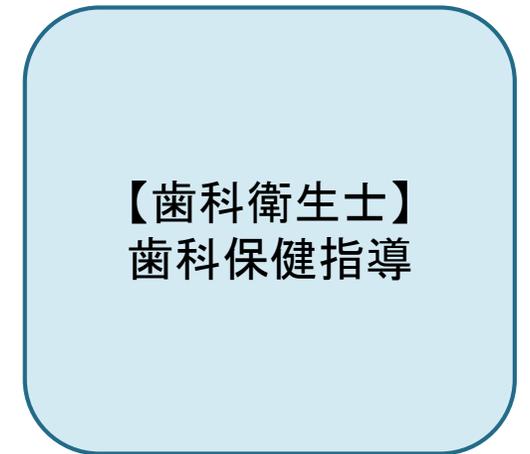
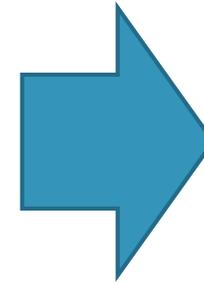
実施の流れ



- 本人の口腔内状況を自己申告により記入。
- 大崎市：特定健診の受診票と共に送付し、対象者には事前に記入及び当日持参してもらう。
- 名取市、山元町：当日会場にて受診勧奨し、その場で記入。



- 相談問診票（セルフチェックシート）を確認し、口腔内を目視で確認。
- 大崎市：特定健診の流れの中に歯科医師のブースを設置。
- 名取市、山元町：特定健診の受診会場とは別室で会場設置。



- 歯科医師の所見に基づき、指導を実施。
- 大崎市：特定健診の会計場所の隣に歯科保健指導のブースを設置。
- 名取市：歯科医師の会場と同室内にブースを設置。
- 山元町：歯科医師の会場と隣室にブースを設置。

口腔チェック

【主な使用物品】

- ミラー
- ライト
- 手袋

【主な内容】

- 歯科医師による目視によるチェック（約5分間程度）
- 口腔内はミラーとライトにより確認
- 記入補助者が歯科医師の所見等を結果票に記入



実施結果

【実施】

- 参加者数：263人うち 歯科保健指導を受けた者：220人

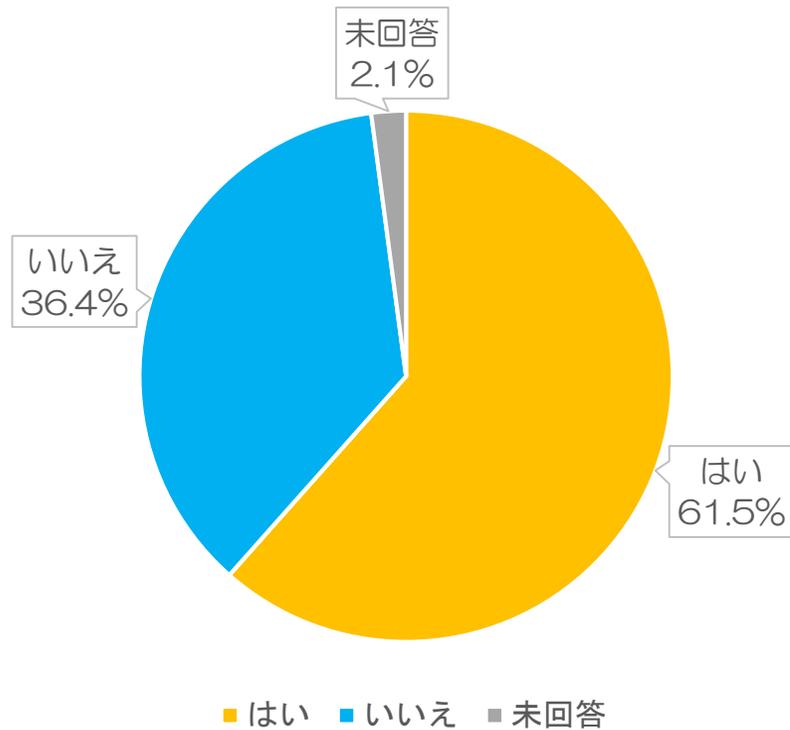
【事後アンケート】

- 事後アンケート回答者数：143人（54.4%）
- 歯科医師の口腔チェックを受けたことで歯科口腔保健の改善につながったと感じる
：88人（61.5%）
- 歯科衛生士の指導を受けたことで歯科口腔保健の改善につながったと感じる
：76人（66.1%）

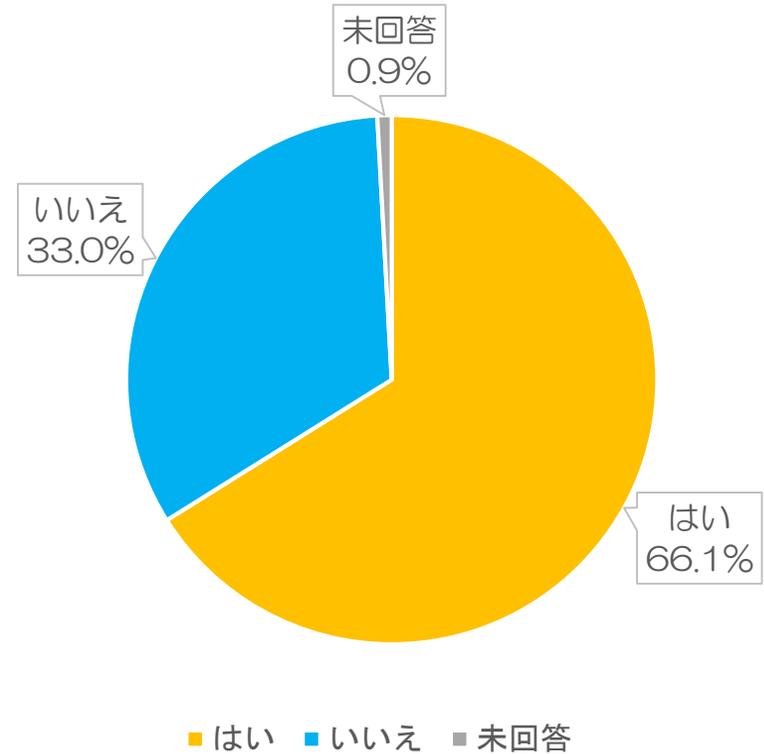
実施結果

【事後アンケート】

歯科医師の口腔チェックを受けたことで、口腔ケアの実施状況や生活習慣に改善はありましたか。



歯科衛生士の歯科保健指導を受けたことで、口腔ケアの実施状況や生活習慣に改善はありましたか。



実施結果

【事後アンケート】

- かかりつけの歯科医院はありますか。

ないと回答していた18人のうち、7人（**39%**）が事後アンケートでかかりつけ歯科医院が**ある**と回答

- 歯の定期健診を受けていますか。

受けていないと回答していた71人のうち、18人（**25%**）が事後アンケートで**受けている**と回答

- 歯間ブラシやデンタルフロスを使っていますか。

使っていないと回答していた44人のうち、11人（**25%**）が事後アンケートで**使っている**と回答